

私たち三育ライフの使命は地域社会における社会福祉の推進と向上と充実です。当法人の理念は、「いのちを敬い、いのちを愛し、いのちに仕えることによって、神の愛の実現に奉仕する」というものですが、この理念を踏まえた福祉サービスの提供を通して、使命達成のために職員一丸となって研鑽いたしました。

東京事業所シャローム東久留米は開設22年、シャローム若葉は平成26年度で開設20年が経過しますが、それぞれの事業が支えられていることは、ひとえに多くの関係者の皆様のご支援の賜物と心より感謝する次第です。日本は超高齢社会を迎え、高齢福祉事業の必要性は年ごとにその緊急性と重要性を増していますが、昨年度は、関係者の皆様のご期待と信頼に応えることができるように、地域社会の様々なニーズに進化する開かれた法人を目指し、以下の点に力を入れて事業を運営いたしました。

ひとつはサービスの質の向上です。超高齢社会を迎え福祉的ニーズはますます多様になっていますが、その必要に応えることができるよう継続的な研修を重ね、より良いサービスの提供に務めました。何が必要であり、何が可能か、絶えず課題を共有し、科学的介護と実践に心がけましたが、法人の理念の目指す隣人愛に基づいた働きとなるように心がけました。まだ十分ではありませんし、課題は山積していますが、このあたたかな介護を目指した働きであったことを感謝しています。

二つ目は、人材の育成と確保です。サービスの質の向上を図るためには、それを安定させるための人材の育成と確保は不可欠です。計画的な職員の研修を、東京事業所と千葉事業所の連携の中で継続し、相互に学び合うことで業務に繋げることができるように努めました。また、やりがいのある職場環境を整えることで人材の流出を留めると共に、学業を終えた新卒者を始め、新しい人材の確保のための採用のために関係者への働きかけに務めました。

そして三つ目は、法人本部機能の向上と健全運営です。東京事業所、千葉事業所との定期的協議を重ね、各事業所の経営、財務状況を踏まえ、法人全体の事業計画を遂行いたしました。法人の理念に基づいた、法人としての方向性を繰り返し確認し、現場の対応力を研鑽し合うことができたことは感謝でした。

最後に、地域福祉の拠点となることを目指しました。ボランティアや中高生の職場体験の受け入れ、大学生の実習の受け入れのみならず、災害時の対応などを視野に入れた関係各所と連携する、開かれた法人としての使命と責任を果たし得たのではと自負しています。これはひとえに、関係者のご支援とご理解、そして利用者と地域社会の必要に何とか答えたいという職員一同の福祉に対する情熱と日ごろの研鑽の賜物と考えています。しかしなお、改善、進化すべき課題点があることを自覚し、一層研鑽努力し、無くてならない法人として地域社会に貢献できればと願っています。

以上、平成25年度の事業報告とします。